

基本操作

ご注意

※マークのついた操作は、初期設定では実行できません。
※**1**：設定を行わないとファンクションが表示されず、実行できない操作
※**2**：ファンクションは表示されるが、設定を行わないと実行できない操作
なお、本機の設定はお受け取りの際に変更されている場合があります。
お買い上げの販売店または設置業者にお問い合わせください。

電源を ON / OFF する

■ 電源 ON のしかた

1. 電源 OFF の状態で [メニュー] ボタンを 2 秒以上長押しする
「LINK」が点滅表示されます。システムに接続すると「GRP」が表示され、グループ通話モードになります。システムに接続できないときは「LINK」が点滅表示されたままとなり、通話ができません。接続できるエリアへ移動してください。

■ 電源 OFF のしかた

1. 電源 ON の状態で [メニュー] ボタンを 2 秒以上長押しする
すべての表示が消えます。

キープロテクトを ON / OFF する

[メニュー] ボタンや [実行] ボタンが動作しないようにロックします。

1. 音量・設定変更ボタンの [＋] ボタンを押しながら、[－] ボタンを 3 秒以上長押しする
キープロテクトが ON になり、表示部に「」が表示されます。
再度同じ操作をすると、キープロテクトが OFF になります。
※ 初期設定では、電源の ON / OFF と緊急通知以外のファンクションがすべてロックされます。ロックするファンクションについては、お買い上げの販売店または設置業者にお問い合わせください。

通話をする

本体の【機能】 ボタンまたはコントロールマイクロホンのトークボタンを使用して通話します。

- トークボタンを押しながらマイクに向かって話す
※ コントロールマイクを接続しているときは、本体の内蔵マイクは使用できません。
- 話し終わったら、トークボタンをはなす

■ マイク動作設定時の操作について

トークボタンを使用した通話の方法には、「PTT」、「PTT ホールド」、「VOX」があります。これらは子機の設定によって異なります。
本書では、PTT 設定での操作方法を記載しています。
● PTT：本体またはコントロールマイクロホンのトークボタンを押している間、通話することができます。
● PTT ホールド：本体またはコントロールマイクロホンのトークボタンを一度押すと通話状態になり、もう一度押すと通話を終了します。
● VOX：音声に反応して自動的にマイクが ON になります。トークボタンを押すことなく、ハンズフリー通話ができます。
※ PTT、PTT ホールド、VOX の設定については、お買い上げ販売店または設置業者へお問い合わせください。

グループ通話モードで通話する

電源を入れた直後は、本機が所属するグループ（ホームグループ）での「グループ通話モード」になっています。

1. トークボタンを押しながらマイクに向かって話す

■ 通話するグループを切り換える

- 「◀GRP▶」が表示されるまで [メニュー] ボタンを数回押す
- [＋] [－] ボタンでグループを選択し、[実行] ボタンを押す
イヤホンからモード切換音（ブツ）がなります。

一斉連絡をする

一斉連絡には、グループ全員を呼び出す「一斉呼出モード」とグループ全員と通話する「一斉通話モード」があります。操作方法は同じですが、同時に使用することはできません。

※「一斉呼出モード」と「一斉通話モード」の設定については、お買い上げの販売店または設置業者にお問い合わせください。

- 「◀ALL▶」が表示されるまで [メニュー] ボタンを数回押し、[実行] ボタンを押す
イヤホンから一斉連絡音（ピボーピボー）がなります。
※ 無効音（ブツッ）が聞こえたときは、しばらく待ってからやり直してください。
- トークボタンを押しながらマイクに向かって話す
通話が終了したら、「GRP」が表示されるまで [実行] ボタンを 2 秒以上長押しします。「グループ通話モード」に戻ります。

個別通話をする *2

- 「◀NUM▶」が表示されるまで [メニュー] ボタンを数回押す
- [＋] [－] ボタンで内線番号を選択し、[実行] ボタンを押す
イヤホンから個別呼出音（トゥルルルルルル…）がなり、相手を呼び出します。
※ 無効音（ブツッ）が聞こえたときは、しばらく待ってからやり直してください。
- 相手が応答したのち、トークボタンを押しながらマイクに向かって話す
通話が終了したら、「GRP」が表示されるまで [実行] ボタンを 2 秒以上長押しします。「グループ通話モード」に戻ります。

応答する

「個別呼出モード」や「一斉呼出モード」などの呼び出しに応答します。

- 呼出音が聞こえたら、[実行] ボタンを押す
※「一斉通話モード」または「招集通話モード」は、呼び出しを受けると自動的に各モードに切り換わるため、[実行] ボタンを押す必要はありません。
- トークボタンを押しながらマイクに向かって話す
通話が終了したら、「GRP」が表示されるまで [実行] ボタンを 2 秒以上長押しします。「グループ通話モード」に戻ります。

放送する *2

- 「◀SPK▶」が表示されるまで [メニュー] ボタンを数回押す
- [＋] [－] ボタンでグループを選択し、[実行] ボタンを押す
- トークボタンを押しながらマイクに向かって話す
- 放送後、「GRP」が表示されるまで実行ボタンを 2 秒以上長押しする
「グループ通話モード」に戻ります。

招集する *2

- 「◀MTG▶」が表示されるまで [メニュー] ボタンを数回押し、[実行] ボタンを押す
イヤホンから招集通話音（ピボポ）がなり、「」が表示されます。
※ 無効音（ブツッ）が聞こえたときは、しばらく待ってからやり直してください。
- トークボタンを押しながらマイクに向かって話す
通話が終了したら、「GRP」が表示されるまで [実行] ボタンを 2 秒以上長押しします。「グループ通話モード」に戻ります。

ヒアリングモード *1

複数の子機が主に通話の受信だけをおこなう「ヒアリングモード」があります。
「ヒアリングモード」には、ヒアリングマスター子機とヒアリングスレーブ子機があり、子機のモードは表示部で確認することができます。
● ヒアリングモード：「HEAR」が表示（ファンクション表示部）
● ヒアリングマスター子機：「送信」、「受信」が表示
● ヒアリングスレーブ子機：「受信」が表示
※「ヒアリングモード」で使用するには、モード設定スイッチや子機データの設定が必要です。詳しくは、WD-3000 シリーズ取扱説明書をご覧ください。
設定変更はお買い上げ販売店または設置業者にお問い合わせください。

※「ヒアリングモード」の動作中は使用できる環境や動作に制限があります。詳しくは、WD-3000 シリーズ取扱説明書をご覧ください。

外線電話で通話する *1

■ 外線電話をかける

- 「◀TEL▶」が表示されるまで [メニュー] ボタンを数回押す
- [＋] [－] ボタンで電話番号（M1 ～ M3）を選択し、[実行] ボタンを押す
イヤホンから外線電話発信音（ブルルルルル…）がなり、相手を呼び出します。
- 相手が応答したのち、トークボタンを押しながらマイクに向かって話す
通話が終了したら、「GRP」が表示されるまで [実行] ボタンを 2 秒以上長押しします。「グループ通話モード」に戻ります。
※ あらかじめ外線電話発信の設定と電話番号の登録が必要です。お買い上げの販売店または設置業者にお問い合わせください。

■ 外線電話の取り次ぎをする

外線電話通話中、その通話を一時保留にして他の子機に外線電話を取り次ぐことができます。

- 「◀HOLD▶」が表示されるまで [メニュー] ボタンを数回押し、[実行] ボタンを押す
- 「グループ通話モード」、「一斉通話モード」、「招集通話モード」、または「個別通話モード」で他の子機を呼び出す
相手が応答操作をすると、取次完了音（バポ）がなり、外線電話取次が完了します。
※「個別通話モード」で呼びかけを行った場合は、相手が応答操作をする と「個別通話モード」に移行します。相手がもう一度応答操作を行うと、外線電話取次が完了します（このときは、取次完了音はなりません）。
※「一斉呼出モード」では、外線電話の取り次ぎはできません。

緊急を通知する *1

- [実行] ボタンを押しながら、音量・設定変更ボタンの [－] ボタンを 3 秒以上押す
緊急音（ピロロピロロピロ）がなります。

手動ハンドオーバーを行う *1

現在接続しているセルステーションから、別のセルステーションへ手動で接続を切り換えます。

- 「◀H/O▶」が表示されるまで [メニュー] ボタンを数回押す
- [実行] ボタンを押す

機能ボタンにファンクションを割り当てる

本体の【機能】 ボタンにお好みのファンクションを 1 つ割り当て、機能ボタンとして使用できます。

- 登録したいファンクションが表示されるまで [メニュー] ボタンを数回押す
グループ番号や内線番号などの番号を指定する場合は、[＋] [－] ボタンで登録したい番号を選択します。
- 本体の【機能】 ボタンを 3 秒以上長押しする
登録が完了すると、登録完了音（ブーツ）がなり、「COMP」と表示されます。
※すでに別のファンクションがボタンに登録されていた場合は、あとから登録したファンクションに上書きされます。
※ 機能ボタンのファンクションは、あらかじめシステムで設定されている場合があります。くわしくは、お買い上げの販売店または設置業者にお問い合わせください。

■ ファンクションを初期設定（トーク）に戻す

- 「◀TALK▶」が表示されるまで [メニュー] ボタンを数回押す
- [機能] ボタンを 3 秒以上長押しする
登録が完了すると、登録完了音（ブーツ）がなり、「COMP」と表示されます。

本機の使用周波数に関わるご注意

本機の使用周波数帯では、PHS の無線局のほかに異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。
本機は、同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機の電源を切って、お買い上げ販売店または設置業者にお問い合わせください。

保証とアフターサービス

デジタルワイヤレスインターカムシステム／WD-3000 シリーズ取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

消耗部品について

バッテリーは消耗部品です。部品交換は保証期間内でも有償とさせていただきます。
バッテリー（WT-UB50 [3 個入り]）をお買い求めの際は、お買い上げ販売店、またはお近くのサービス窓口にお問い合わせください。

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例にしたがって適切に処理してください。

- リチウムイオンバッテリー（充電式電池）のリサイクルについて
美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご不要になった電池は、貴重な資源を守るために破棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
安全のため、充電式電池の金属部には、セロハンテープなどの絶縁テープを貼ってお持ちください。



Li-ion

仕様

送受信周波数	：1.9 GHz 帯
送信出力	：10 mW（平均）
変調精度	：12.5 % 以下
受信感度	：16 dB μ V 以下
電源	：DC3.7 V（充電式リチウムイオン電池使用）
使用時間	：約 10 時間（フル充電時）
動作温度範囲	：0℃～＋40℃
防水レベル	：IPX4 準拠（JIS C0920）
外形寸法	：54 mm（幅）× 85 mm（長さ）× 18 mm（厚み）
質量	：55 g（クリップ、バッテリー含まず）
仕上げ	：ABS＋PC 樹脂、ブラック
付属品、添付物	：保証書 1 取扱説明書（本書）..... 1 電池の取扱いについてのご注意..... 1 クリップ 1 ねじ（クリップ用）..... 1 バッテリー 1

※本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

JVCケンウッド カスタマーサポートセンター

固定電話	 0120-2727-87
携帯電話・PHS	 0570-010-114
一部のIP電話など	045-450-8950
FAX	045-450-2308
〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12	

ご相談窓口におけるお客様の個人情報、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www.3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

© 2016 JVCKENWOOD Public & Industrial Systems Corporation

LST1294-001C